

米・プロ野球独立リーグでプレーしている、宮寺匡広選手からメッセージが届いています！！

・宮寺選手のコメント

『今年からできたアメリカ独立リーグの一つである IBL が開幕してから 5 週間が経過しました。このリーグも中盤にさしかかり、順位争いも日に日に激しさを増しております。4 チームのリーグ戦で行われていますが、4 チームとも実力が拮抗しており、緊迫した試合が続いています。

僕は IBL のオハイオ・トラベラーズというチームに所属しています。開幕 2 週目からほぼレギュラーとして定着でき、3 週目からは 1 番として使ってもらえるようになりました！セーフティバントを駆使してヒットを稼いできましたが、コツコツヒットも重ねるようになってから打順も上げてもらえるようになりました。欲を言えばもう少し長打がほしいところです。

そうすればまたグッと印象も変わりますし、これからにつながるかなと思っています！体格の小さい自分でもこれだけやれるんだということをもっと示したいし、結果にももっともっと拘りたいと思っています。20 代後半の自分にとって現役でできる年数はもうだいぶ限られています。本来なら将来のために安定した道を模索するべきだとも思います。

昨年6月に海外で野球をするために勤めていた会社を退社しました。そして少しでも多く海外の野球に触れ、シビアな世界を経験するために、アメリカ野球に飛び込みました。何のためにサラリーマンをやめて現役復帰したのかといえば、厳しい環境に身をおき精一杯の挑戦がしたいと思ったからです。

ほんの少しの差でクビになったりレギュラーになったりするアメリカ野球で上に上がるの至難の業かもしれません。それでもほんの僅かでもチャンスが目の前にあるのなら、全力でそのチャンスを取りにいきたいと思います。アメリカではちょっとしたチャンスをものにできるかどうかが最終的には天と地ほどの差になります。

結果は変わらないかもしれないですが、その挑戦がこれからに絶対つながるし、徹底的に打ちのめされることがあってもそこからまた立ち上がる強さも自分に欲しいと思っています！さらにはその経験を踏まえ、様々なことに後々挑戦したいとも思っています。

全力でチャンスをつかみに行った結果が今のところ1番セカンドのレギュラーとして定着したことは自分にとって大きな自信となりました。しかし、まだまだ上のレベルを目指したいし、その中でプレーしてみたいと思っています。ここで甘んじているわけにはいかないと思います。さらに海外野球の厳しさをより経験できれば(日本の厳しさとはまた違った側面があると思います)、人に伝える内容も密度が濃くな

りますし、それが後進の人たちにも大きな助けになることだと思います。

そんなことを期待しながら、また日々を精一杯過ごしていきたいと思います！』

宮寺選手は慶應義塾大学を卒業後、一般企業に就職をして社会で立派に働いていた青年でした。そんな彼が生き残り、選手の入れ替えの激しいこの世界に挑戦する事は簡単な決断ではなかった事と思います。彼の挑戦を BMI はこれからも全力でサポートしていきます！！

